

事業名：交通対策管理経費

企画課 企画係

政策	01 自然・環境			戦略				
取組の基本方針	01 人と自然の共生			具体的施策				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

野幌森林公園内基線道路の一般車両通行者（江別市民）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	江別市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

野幌森林公園内基線道路の入り口等に一般車両の通行抑制を促す看板を設置し、その効果を検証するために交通量を測定する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	通行抑制看板設置数	枚	4	4	4	4
活動指標 2	交通量調査	回	1	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

自然環境の保全を図るため、一般車両の通行を抑制する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	交通量（自動車）	台	22	31	20	20
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	110	22	35	35
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,153	1,161	1,140
総事業費 (A+B)		千円	1,254	1,175	1,196	1,175

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・交通量調査（年1回）	・交通量調査	35千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：都市景観創出事業

都市計画課 計画係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・企画展の開催（休止中）と景観パンフレットの発行により、景観に関する啓発・情報発信を行う。
- ・3年毎に都市景観賞を開催し、市民や企業などによる優れた景観創出・活動に対する表彰を行う。
- ・市内の景観資源の周知を目的として、3年毎に都市景観フォトコンテストを開催する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 景観イベントの開催日数	日	235	141	0	240
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・都市景観に対する意識の高揚と、江別らしい景観づくりへの理解と関心を高める。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 都市景観賞受賞件数	件	57	60	60	60
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	225	506	0	109
正職員人件費 (B)	千円	1,525	3,075	0	1,520
総事業費 (A+B)	千円	1,750	3,581	0	1,629

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 都市景観フォトコンテスト開催	都市景観フォトコンテスト開催経費 109千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：定住促進事業

政策推進課参事（シティプロモート・住環境活性化）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び移住検討者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	日本総人口	千人	0	126,167	126,140	125,880
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・定住に関する相談窓口の対応を行う。
- ・地域イベントへの参加や自治会などのコミュニティとの交流を行う。
- ・地域の魅力について情報収集、発信を行う。
- ・移住を促すため、首都圏及び札幌市でPR活動を行う。また、北海道を中心とした道内市町村との広域連携事業である移住支援事業を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	定住等PR活動回数	回	0	5	7	8
活動指標 2	まちづくり活動等の事業数	回	0	3	3	3

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内での居住維持や子育て世代の移住が促進される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	定住に関する相談対応件数	件	0	35	41	41
成果指標 2	移住支援金支給者数	人	0	0	0	3

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	2,775	5,461	6,082
正職員人件費 (B)		千円	0	7,687	7,741	7,602
総事業費 (A+B)		千円	0	10,462	13,202	13,684

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	地域おこし協力隊による定住促進活動 移住支援事業（広域連携）	地域おこし協力隊活動経費	3,045千円 移住支援金 2,600千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生活バス路線運行補助事業

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活バス路線事業者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	バス路線数（系統数）	28	27	29	29
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市生活バス路線運行費補助金交付要綱」に基づき、国や道の補助対象とならない市内完結バス路線を対象として、運行費の収支差に対する補助金を予算の範囲内で交付する。  
 <見込額>  
 ・江別2番通線：27,200千円  
 ・野幌見晴台線：19,800千円

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	30,000	29,355	38,000	47,000
活動指標 2	補助対象バス路線数	3	2	2	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- 生活バス路線の運行が維持される。
- 交通弱者の移動の利便性が確保される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	バス路線の廃止数（系統数）	1	1	0	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	30,000	29,355	38,000	47,000
正職員人件費 (B)	千円	2,288	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)	千円	32,288	31,661	40,322	49,281

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 バス路線運行費に対し補助金を支出	バス路線運行費への補助金47,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：豊幌駅舎共同管理経費（補助金）

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

豊幌地区の住民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 豊幌地区の人口	人	2,639	2,632	2,632	2,626
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

「豊幌駅業務運営費補助要綱」に基づき、豊幌駅の管理運営を行う自治会に対し、当該管理運営経費の一部を予算の範囲内で補助する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	550	550	550	550
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

豊幌駅に管理人が配置されることにより、駅利用者の利便性、安全性が確保される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 豊幌駅の利用に関する苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	550	550	550	550
正職員人件費 (B)	千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)	千円	1,313	1,319	1,324	1,310

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度	駅業務運営に対し補助金を支出	駅業務運営への補助金550千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：公共交通利用促進対策事業

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,833
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・平成30年度に策定した地域公共交通網形成計画に基づき、路線バスの利用促進、江北地区のデマンド型交通の実証運行の継続、豊幌地区のデマンド型交通の実証運行の開始。
- ・江別市地域公共交通活性化協議会（市、公共交通事業者、公共交通利用者、学識経験者等で構成）において、地域公共交通網形成計画の推進状況の確認等を行うほか、市内のバス路線についても引き続き検討等を行う。
- ・市民に対して、市ホームページ・広報誌による情報発信を引き続き行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 利便性向上や利用促進等のために行った事業数	件	4	4	4	4
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

交通機能を維持・確保することに加え、情報提供の強化等を図ることにより、利用が促進される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 バス輸送人員	千人	548	518	562	562
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	9,624	2,839	4,201	8,705
正職員人件費 (B)	千円	11,441	11,531	11,612	11,403
総事業費 (A+B)	千円	21,065	14,370	15,813	20,108

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画推進等業務</li> <li>・地域公共交通活性化協議会等開催</li> <li>・バス路線マップ等作成</li> <li>・市ホームページや広報誌による周知・利用啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江北地区デマンド型交通実証運行 1,500千円</li> <li>・豊幌地区デマンド型交通実証運行 6,000千円</li> <li>・地域公共交通活性化協議会等開催 591千円</li> <li>・バス路線マップ等作成 614千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 大学連携調査研究助成事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）の教員及び教員を中心とした団体。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内4大学所属教員数（短大含む）	人	477	475	469	469
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。なお、対象は第6次江別市総合計画の「えべつ未来戦略」に関わる事業等とする。  
 【根拠要綱】江別市大学連携調査研究事業補助金交付要綱  
 【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、1,000千円を上限に補助

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助事業件数	件	5	4	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

補助金の交付により、市内4大学の教員及び教員を中心とした団体が、地域の課題解決につながる具体性・実用性の高い調査研究を実施できるようにする。また、大学の優れた研究等を地域の課題解決に生かすため、教員等の関心を高める。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	補助事業申請件数	件	9	6	3	3
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,640	1,781	2,085	2,285
正職員人件費 (B)		千円	3,051	3,075	3,096	3,041
総事業費 (A+B)		千円	5,691	4,856	5,181	5,326

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4大学の教員が行う江別市の地域課題や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し補助金を交付する。</li> <li>前年度の補助事業について、報告会を開催する。</li> <li>【令和2年度採択事業】</li> <li>SDGsの実現を目指した江別市における統合型GISとオープンデータのプロトタイプ構築事業</li> <li>江別市における文化活動調査に基づくアートマップ作成 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別市大学連携調査研究事業補助金 1,950千円</li> <li>えべつ未来づくりプラットフォーム負担金 100千円</li> <li>日本獣医学会協賛金 200千円</li> <li>大学連携事業報告会会場使用料 35千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大学連携学生地域活動支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生団体

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内4大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	9,865	10,096	10,452	10,452
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学に所属する学生団体が行う地域住民とのふれあいや、まちづくりに関する自主的な取組（環境活動、地域福祉、教育及び文化、観光及び産業、その他まちづくりに関する事業）に対し、補助金を交付する。  
 【根拠要綱】江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金交付要綱  
 【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、100千円を上限に補助

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助事業件数	件	6	6	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学に在学する学生が、江別市民の一員としての意識を持つことが地域と大学による協働のまちづくりにつながることから、補助金の交付により、学生が自主的に、地域住民とのふれあいやまちづくりに関する取組を実施できるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	補助事業申請件数	件	6	6	3	3
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	412	176	425	425
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	3,871	3,801
総事業費 (A+B)		千円	4,226	4,020	4,296	4,226

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4大学学生が行う自主的な地域活動等に対し、補助金を交付する。【令和2年度採択事業】</li> <li>江別市におけるSDGs目標達成に向けたパンフレットの作成</li> <li>全天球カメラレンズを用いて撮影した『江別の心地よい風景』写真・映像を集めたウェブアーカイブ制作など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金 400千円</li> <li>えべつ未来づくり学生コンペティション実行委員会負担金 25千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	



事業名：大学版出前講座支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働	戦略						
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進	具体的施策						
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 出前講座講師登録者数	人	61	49	40	40
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学の研究機能を活用した協働のまちづくりを推進するため、大学の教員が地域に出向き、地域活性化・地域課題解決の研究成果や大学の特色を生かしたテーマについて講演する出前講座を支援する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 出前講座実施件数	件	4	1	0	3
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

講座開催を通じて、各大学は、日頃の研究や取組みについて市民に知ってもらえる機会を得るとともに、参加した市民は様々な知識に触れる機会を得る。また、このことを通して大学と市民の相互理解が促され、協働のまちづくりの実現につながる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 出前講座参加者数	人	232	20	0	100
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	25	25
正職員人件費 (B)	千円	2,288	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)	千円	2,288	2,306	2,347	2,306

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・出前講座の受付、大学との調整、PR（パンフレットの作成・配布、ホームページ・広報での周知）	・講座資料の印刷費 25千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 学生地域定着自治体連携事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	9,865	10,096	10,452	10,452
対象指標2	協議会加入自治体数	団体	8	8	8	8

手段（事務事業の内容、やり方）

連携自治体（江別市、芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町）へ市内4大学の学生を就業・定住させることを目的に組織された学生地域定着推進広域連携協議会を運営し、市内で実施する地域活動プログラム（インターンシップ、ワークショップ、地域イベント参画など）に学生が参加するための支援を行う。支援の手段は、学生と地域活動プログラムのマッチングほか、交通費の支給など。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標1	地域活動等実施プログラム数	件	39	41	3	30
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学の学生が地域の魅力を知り、将来的な市内での就業・定住につなげるために、地域活動プログラムに参加する学生の増加を図る。また、協議会の運営を通じて、当市以外の連携自治体への就業・定住についても実現を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標1	市内の地域活動等に参加した延べ学生数	人	445	463	41	400
成果指標2	参加者のうち市内へ就業した者の人数	人	4	3	0	3

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費(A)		千円	3,299	3,244	3,554	3,758
正職員人件費(B)		千円	7,627	7,687	7,741	7,602
総事業費(A+B)		千円	10,926	10,931	11,295	11,360

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生地域定着推進広域連携協議会の運営</li> <li>学生地域活動プログラム参加支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生地域定着推進広域連携協議会負担金 3,642千円</li> <li>消耗品等 30千円</li> <li>一般役務費 73千円</li> <li>一般使用料賃借料 13千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	コロナウイルス感染症の状況に応じて、オンラインで地域企業へのインターンシップ等を企画し、企業及び学生が参加しやすい環境で実施をする。

事業名：大学生等地域関係促進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 4年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内大学生

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市内大学生	人	0	0	10,096	10,452
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内4大学内に江別PRブースを設置して、江別市に関する情報を発信する。
- ・地域交流会等を開催し、若手経営者や就業者と大学生との繋がりを創出する。
- ・えべつファンスマホアプリを活用した情報発信を行い、アプリ登録者を獲得する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 地域交流会等実施回数	回	0	0	1	12
活動指標 2 江別PRブース情報発信点数		0	0	150	200

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市の認知度の向上や愛着心が育成される。
- ・卒業後においても市との繋がりが維持され関係人口が創出される。
- ・20代前半の転出抑制や将来の定住促進が図られる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 地域交流会等参加者数	人	0	0	10	100
成果指標 2 えべつファン登録者数	人	0	0	100	400

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	9,780	10,040
正職員人件費 (B)	千円	0	0	7,741	3,801
総事業費 (A+B)	千円	0	0	17,521	13,841

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・若者「えべつ愛」運営事務局の設置 ・市内4大学内江別PRブースの設置及び地域交流会の開催 ・江別の認知度を向上させるバスツアーの試験開催 ・首都圏在住者に対する事業PR ・えべつファンスマホアプリの拡充 ・その他事業推進のための経費	・人件費、事務局賃借料等 6,594千円 ・会場使用料、デジタルサイネージリース料等 1,520千円 ・バスチャーター費等 248千円 ・旅費、印刷費 323千円 ・システム構築費等 1,200千円 ・消耗品費等 155千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	感染症対策に配慮しつつ、大学生に対する効果的な情報発信を行うため、デジタルサイネージを活用した非接触型のPRを行うとともに、地域交流会等のオンライン開催を検討する。

事業名：国際交流情報提供事業

秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略				
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・市内通勤、通学者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- 日本語に堪能で地域の国際化事業に理解と意欲のある外国人を市国際交流員（CIR）として継続的に雇用し以下の事業を実施する。
1. 文書、刊行物等の翻訳、監修
  2. 国際交流事業の企画、立案、実施協力
  3. 地域住民・市職員に対する語学指導への協力
  4. 地域住民の異文化理解交流活動への協力
  5. 海外との連絡・調整、通訳、訪問客の接客
  6. 在住外国人へのサポート

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等開催回数	回	148	128	114	128
活動指標 2	海外と江別市とで交わした行政文書等の数	通	632	717	200	700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

1. 地域住民等が国際感覚や国際意識を持つ
2. 地域住民等の異文化に対する理解が深まる
3. 在住外国人にも住みやすい街になる

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	国際交流員が係った地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	1,233	1,138	270	1,250
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	5,628	5,642	5,676	5,579
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,153	1,161	1,140
総事業費 (A+B)		千円	6,772	6,795	6,837	6,719

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講演（出前講座、語学教室等）</li> <li>・刊行物等の翻訳</li> <li>・市ホームページの作成、更新</li> <li>・姉妹都市グレシャム市との連絡調整、文書作成等</li> <li>・在住外国人への情報提供 ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員報酬 5,400千円</li> <li>・国際交流員費用弁償 173千円</li> <li>・パンフ等印刷製本費 6千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市都市提携委員会補助金

秘書課 秘書係

政策	08 協働		戦略				
取組の基本方針	02 国際交流の推進		具体的施策				
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市都市提携委員会

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 江別市都市提携委員会委員数	人	44	44	44	44
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

姉妹・友好都市交流を行う江別市都市提携委員会に対し、その事業費を補助する。  
 補助金内訳：学生相互交流にかかる経費 ほか  
 （江別市都市提携委員会補助金交付要綱）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	450	450	100	450
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市都市提携委員会に補助を行うことで、当委員会が以下の成果をあげることができる。  
 1. 異文化を理解し、広い視野をもった市民を増やす 2. 市民ボランティアとして活躍出来る人を増やす  
 3. 姉妹・友好都市との交流を通じて自分のまちの歴史や状況を客観的に理解し、郷土を愛する心を育むとともに、国際感覚を身につけ国際社会やまちづくりに貢献する

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 姉妹都市・友好都市派遣人数	人	3	3	0	3
成果指標 2 姉妹都市・友好都市受入人数	人	3	3	0	3

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	450	450	450	450
正職員人件費 (B)	千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)	千円	831	834	837	830

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 以下の事業を実施する江別市都市提携委員会に対し補助金を支出する。 ・姉妹都市グレンシャム市との高校生相互派遣 ・姉妹都市、友好都市を訪問する団体への助成 ・姉妹都市、友好都市に関する市民PR ・国際交流イベントへの参加及び展示物等出展協力 ・友好都市高知県土佐市からの訪問団との交流	江別市都市提携委員会の事業実施に対する補助金 450千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名： 市民交流施設関連経費（江別国際センター施設管理費補助金） 秘書課 秘書係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	02 国際交流の推進			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**

江別市国際交流推進協議会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	江別市国際交流推進協議会の構成団体数	団体	0	25	25	25
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、やり方）**

江別市内の国際交流団体等で構成された組織である「江別市国際交流推進協議会」に対し、同協議会が運営している「江別国際センター」の維持管理にかかる経費の一部を補助する。  
 補助金内訳：施設管理費、人件費等の一部  
 （江別国際センター補助金交付要綱）  
 ※令和元年12月「市民交流施設ぷらっと」へ移転以降の実績（前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	0	106	2,163	2,222
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**

国際交流施設の運営が安定することにより、国際交流事業が積極的に推進される。  
 ※令和元年12月「市民交流施設ぷらっと」へ移転以降の実績（前事業名：江別国際センター施設管理費等補助金）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	0	2,060	5,600	11,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	106	2,163	2,222
正職員人件費 (B)		千円	0	384	1,161	1,140
総事業費 (A+B)		千円	0	490	3,324	3,362

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	以下の事業を実施する江別市国際交流推進協議会に対し、活動拠点となる江別国際センターの施設管理のための補助金を支出する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人との交流イベントの実施</li> <li>会報、ホームページ等での広報</li> <li>外国人へのホームステイや通訳などのサポート支援</li> <li>主に外国人技能実習生を対象とした日本語教室開講</li> </ul>	江別国際センター施設管理等に対する補助金 2,222千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：行政改革推進事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市職員

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市職員数	人	1,139	1,140	1,139	1,140
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・行政改革大綱に基づく行政改革推進計画を実施する。
- ・行政改革推進委員会を開催し、行政改革に関する意見や助言を求める。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 行政改革推進委員会開催回数	回	4	1	2	4
活動指標 2 行革関連事業等開催回数	回	20	11	3	5

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市職員が高い意識を持って、行政改革に取り組んでいる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 行政改革取組項目数	件	26	23	23	23
成果指標 2 行革関連事業参加者数	人	271	117	29	45

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	230	54	268	255
正職員人件費 (B)	千円	4,576	3,844	3,871	3,801
総事業費 (A+B)	千円	4,806	3,898	4,139	4,056

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 行政改革推進委員会の開催	行政改革推進委員会開催経費 255千円 （委員会報償費 228千円、会場使用料 27千円）

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、行政改革推進委員会の会場を見直し、ソーシャルディスタンスを保つための環境を整える。

事業名：行政評価・外部評価推進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市職員
- ・市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市職員	人	1,139	1,140	1,139	1,140
対象指標 2	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・評価表の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う。
- ・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査を実施する。
- ・行政評価を行う職員の技能向上を目的として、庁内説明会等を開催する。
- ・学識者・有識者、市民公募委員などから構成される行政改革推進委員会を開催し、市が自ら行った行政評価（内部評価）に対して、外部評価を行うとともに、その結果を公表する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	行政評価説明会等開催回数	回	3	1	1	1
活動指標 2	行政改革推進委員会開催回数	回	0	0	2	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	64.4	87.9	100	100
成果指標 2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	90.3	85.6	100	100

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,783	2,165	1,929	1,873
正職員人件費 (B)		千円	9,152	7,687	7,741	2,281
総事業費 (A+B)		千円	11,935	9,852	9,670	4,154

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	・まちづくり市民アンケートの実施	・まちづくり市民アンケート実施経費 1,873千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、行政改革推進委員会の会場を見直し、ソーシャルディスタンスを保つための環境を整える。



事業名： 広聴活動事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・ 市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・ 現状の広聴手段である①面談、②広聴箱、③郵便、④電話、⑤FAX、⑥Eメールのほか、各担当課で実施する⑦施設見学会、⑧市民アンケート、⑨各種懇談会、⑩パブリックコメントの利用増、機会の拡充を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	市民が市へ意見や要望を伝える手段の数	個	10	10	10	10
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・ 市政に対する市民の意見、要望、提言等を伝える媒体を整備することで、市民が市政に関する意見を伝えやすくなる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	1年に寄せられた意見や要望の件数（陳情・要望・市民の声）	件	275	298	281	284
成果指標 2	1年に寄せられた意見や要望の件数（パブリックコメント）	件	166	74	135	113

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	5,339	5,381	5,419	5,321
総事業費 (A+B)		千円	5,339	5,381	5,419	5,321

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	市民からの意見・要望を所管課に伝え、市政に反映させる。	人件費事業

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 広報えべつ発行等事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進	戦略						
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民  
・世帯

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2 世帯数	世帯	57,155	57,929	57,929	58,668

手段（事務事業の内容、やり方）

・ A4判1色刷（表・裏表紙はカラー印刷）、月平均27ページ、毎月1日付、年12回発行。  
 ・ 編集の一部及び印刷、製本については業務委託し、発行に係る企画、取材、編集、版下作成を直接職員が行う。  
 ・ 配布については、自治会に郵送し各戸配布を依頼している他、ホームページへの掲載、自治会未加入者等のために市内の大学、公共施設、JR駅、郵便局、大学・企業の寮、コンビニ、スーパー、病・医院、理容院等にも設置。  
 ・ 転入者に江別での生活情報をまとめた「江別生活ガイドブック」を配布する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 月平均作成部数	部	47,138	47,096	47,050	47,100
活動指標 2 広報配布箇所数	箇所	268	266	266	261

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・ 市政の基本方針を始め、業務・事業紹介、制度改革、市民活動団体の紹介等、市民生活に係る事項について市民に周知される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 配布率	%	80.1	79.9	81.6	80.6
成果指標 2 広報えべつを読んでいる市民の割合	%	84.5	81.7	84.5	81.7

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	13,869	14,205	14,673	13,982
正職員人件費 (B)	千円	11,441	11,531	11,612	11,403
総事業費 (A+B)	千円	25,310	25,736	26,285	25,385

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 広報えべつの発行、転入者への生活情報をまとめた冊子「江別生活ガイドブック」の発行	広報えべつ作成経費 13,706千円 江別生活ガイドブック 276千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： ウェルカム江別事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・江別市外在住でこれから移住・定住を考える世帯

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	江別市内外の移住・定住を考える世帯（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・江別市の魅力をPRするリーフレット及びホームページ・SNSを作成・運営し、情報発信する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	パンフレット等作成部数	部	20,000	5,000	4,000	4,000
活動指標 2	ホームページ更新回数（年間）	回	11	22	12	12

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・情報発信を充実させることで、道内外における江別の認知度を向上させ、江別市外在住で江別をよく知らなかった人にも、移住候補先としての江別市を認知してもらう。  
 ・情報発信により江別の観光情報や生活情報に触れる機会が増え、関心度の向上により江別を身近に感じることでイメージアップにつながり、定住先としての江別という認識を向上させる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	パンフレット等配布部数（年間）	部	20,000	5,000	4,000	4,000
成果指標 2	ホームページのアクセス件数（年間ページビュー）	件	10,458	15,208	11,100	11,400

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,739	432	286	333
正職員人件費 (B)		千円	3,051	3,075	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	4,790	3,507	1,834	1,853

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	江別の住み良さをPRするリーフレットの作成	江別の住み良さをPRするリーフレット作成経費 275千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ホームページ運営事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民および江別市の情報を必要としているインターネット利用者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	インターネット利用者数（測定不能）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市公式ホームページにより市政情報やイベント情報などを提供する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	情報更新回数（年間）	件	4,310	4,746	4,400	4,400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市政情報などを迅速かつ分かりやすく提供することで、市と市民が行政情報を共有する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	ホームページアクセス数（年間）	回	4,416,509	4,883,144	4,377,000	4,467,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	312	282	2,254	1,812
正職員人件費 (B)		千円	7,627	7,687	7,741	7,602
総事業費 (A+B)		千円	7,939	7,969	9,995	9,414

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	市ホームページの管理・運営	コンテンツ管理システムの保守運営経費 1,748千円 モバイルWi-fi管理費 64千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：えべつシティプロモーション事業 政策推進課 主幹（シティプロモート）

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市外居住者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市外居住者	千人	126,321	126,047	126,020	125,760
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内大学・企業・経済団体などとともに市のプロモーション（売り込みや知名度向上）のための推進組織（江別シティプロモート推進協議会）を設置し、官民一体的なプロモーションを検討の上、江別の魅力を発信するイベント等の推進プロジェクトを実践する。
- ・市民等がブログで江別の情報を発信する仕組みづくり（江別市民ブロガーズ）など、まちのイメージを高めるための戦略的な取組を構築する。
- ・印刷物やホームページをはじめInstagramやフェイスブックなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用など、状況に合わせた効果的な情報発信を検討の上、実施する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 推進プロジェクト等の活動回数	回	12	10	12	8
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別シティプロモート推進協議会における官民一体的なプロモーション、まちのイメージを高めるための戦略的な取組、多様な情報発信の実践を通して、積極的に江別市の魅力をPRし、江別市に対する認知度、イメージを向上させる。認知度やイメージの向上は、企業誘致、観光や転入促進など市外の対象に働きかける様々な活動を効果的・効率的に推進するために必要な要素である。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 江別市の認知度の道内順位	位	21	19	20	18
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	3,830	5,154	4,055	4,335
正職員人件費 (B)	千円	15,254	15,374	15,482	15,204
総事業費 (A+B)	千円	19,084	20,528	19,537	19,539

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	子育て世代向け地域PR 地域おこし協力隊による地域PR	子育て世代向けセミナー開催経費 806千円 地域おこし協力隊活動経費 2,973千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報発信調査研究事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略			
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策			
開始年度	令和 3年度	終了年度	令和 3年度	区分1	新規	区分2	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び江別市の情報を必要としている者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	インターネット利用者数（測定不能）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

新しい時代の情報発信のあり方を検討するため、実証実験及び情報発信プランのコンサルティング委託を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	ネット広告実証実験回数	件	0	0	0	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

多様化する利用者ニーズに対応した情報発信を行うことで、市と市民が行政情報を共有する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	情報発信プラン	件	0	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	691
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,520
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	2,211

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	ネット広告の実証実験、属性・ニーズ別配信手法等の研究	ネット広告実証実験	300千円 属性・ニーズ別配信手法等のコンサルタント 300千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	新しい時代の情報発信のあり方を検討し、次年度以降の取組みに反映させるための実証実験を含む調査・研究・検討を行う。

事業名：生涯活躍のまち整備事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	99 政策の総合推進		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	01 政策の総合推進		具体的施策	(1) 健康増進活動の推進			
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	0	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・地域課題・ニーズの収集や、イベント・セミナー等の実施といった役割を担うコーディネーターを配置する。
- ・生涯活躍のまちの情報発信や移住相談等を行う開設準備室を設置する。
- ・生涯活躍のまちを広く周知するためのPRを実施する。
- ・オープンする拠点地域を中心とした地域交流事業を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	生涯活躍のまち関連イベント開催回数	回	0	5	10	53
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・江別市民が住み慣れた地域で、生涯にわたり医療・介護サービスの充実や生活利便性が確保され、安心した生活ができる。
- ・中高年齢者、若年層、障がい者など多様な主体の交流による「共生のまち」を実現する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	拠点地域内施設の利用者等の数	人	0	0	0	438
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	3,177	13,012	9,534
正職員人件費 (B)		千円	0	11,531	11,612	11,403
総事業費 (A+B)		千円	0	14,708	24,624	20,937

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの配置</li> <li>・内覧会やパンフレット配布等による事業のPR</li> <li>・地域交流イベント等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターに係る経費 6,242千円</li> <li>・PR経費 345千円</li> <li>・地域交流イベントに係る経費 1,995千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：次期総合計画策定準備事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	99 政策の総合推進			戦略				
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策				
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	0	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

【市民参加】  
 ・市民アンケートの実施  
 ・グループインタビューの実施 等  
 【分析・評価作業】  
 ・人口推計の作成  
 ・市の現状や課題の分析 等

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 グループインタビュー実施回数	回	0	0	0	5
活動指標 2 市民アンケート実施回数	回	0	0	0	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市の中長期的なまちづくりの方針を定め、市の活力や住みやすさの向上に寄与する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 第7次総合計画策定方針の策定件数	件	0	0	0	1
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	6,649
正職員人件費 (B)	千円	0	0	0	5,321
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	11,970

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・市民アンケート ・グループインタビュー ・人口推計 ・その他分析業務	・市民アンケート実施に係る経費 2,840千円 ・グループインタビューの実施に係る経費 1,101千円 ・人口推計に係る経費 1,196千円 ・その他分析業務に係る経費 1,512千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	現行の第6次総合計画の計画期間が平成26年度～令和5年度までの10年間であるため、次期総合計画策定に向けた準備作業を行う。



事業名：江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業 政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	99 政策の総合推進			戦略				
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市職員  
・市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市職員	人	0	0	1,139	1,140
対象指標 2 市民	人	0	0	119,510	119,883

手段（事務事業の内容、やり方）

・令和2年度内閣官房『少子化対策に関するモデル研究』を踏まえ、事業の具体化に向けた庁内横断的な組織体制を整備する。  
・学識経験者や有識者等を招き、少子化対策に係るフォーラムを開催する。  
・先進地視察やヒアリングを通じて、職員のノウハウを蓄積する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議開催回数	回	0	0	3	2
活動指標 2 少子化対策検討会議等の開催回数	回	0	0	0	5

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・令和4年度以降の事業実施に向けた具体的な検討を進める。  
・産学官連携によるフォーラムを開催し、行政・民間・住民の理解を得るとともに、事業実施に向けた機運を高める。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 総合戦略推進事業数	件	0	0	16	17
成果指標 2 少子化対策検討会議等の参加者数	人	0	0	0	192

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	9,947	960
正職員人件費 (B)	千円	0	0	7,741	3,801
総事業費 (A+B)	千円	0	0	17,688	4,761

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議の開催 ・少子化対策検討体制の整備 ・市民向け講演会の実施 ・その他活動経費	・有識者会議の開催に係る経費 167千円 ・検討体制整備に伴うアドバイザーへの謝礼等 269千円 ・講演会開催に伴う講師謝礼、会場使用料等 372千円 ・先進地視察等に要する費用 152千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	令和2年度内閣官房『少子化対策に関するモデル研究』を通じて検討した施策について、早期実現を目指して具体的な実施方法を検討する。